

平成22年3月期 第2四半期決算短信

上場会社名 エレマテック株式会社(旧大西電気株式会社)
 コード番号 2715 URL <http://www.elematec.com>
 代表者 (役職名)代表取締役会長 (氏名)櫻井 恵
 問合せ先責任者 (役職名)取締役副社長執行役員 (氏名)磯上 篤生
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日
 配当支払開始予定日 平成21年12月2日

平成21年10月30日
 上場取引所 東

TEL 03-3454-3526

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	6,000	△15.8	278	△39.3	261	△45.1	146	△46.9
21年3月期第2四半期	7,123	—	458	—	476	—	276	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年3月期第2四半期	66	00	65	98
21年3月期第2四半期	126	25	124	66

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
22年3月期第2四半期	5,711		2,647		46.4		1,190 94	
21年3月期	5,897		2,646		44.9		1,190 52	

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 2,647百万円 21年3月期 2,646百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金								
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計		
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	
21年3月期	—	—	0	00	—	50	00	50	00
22年3月期	—	—	20	00	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 配当予想の当四半期における修正の有無 : 無

2. 平成22年3月期の配当予想については、エレマテック株式会社(旧高千穂電気株式会社)の平成22年3月期第2四半期決算短信をご参照ください。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

平成22年3月期の連結業績予想については、エレマテック株式会社(旧高千穂電気株式会社)平成22年3月期第2四半期決算短信をご参照ください。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

22年3月期第2四半期	2,223,500株	21年3月期	2,223,500株
-------------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

22年3月期第2四半期	130株	21年3月期	120株
-------------	------	--------	------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)

22年3月期第2四半期	2,223,378株	21年3月期第2四半期	2,187,586株
-------------	------------	-------------	------------

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年10月1日をもって、高千穂電気株式会社と大西電気株式会社は合併し、新会社エレマテック株式会社が発足しました。業績予想に関する説明、その他特記事項につきましてはエレマテック株式会社(旧高千穂電気株式会社)平成22年3月期第2四半期決算短信をご参照ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、国際金融市場の混乱とそれに続いた世界経済の悪化に対し、主要国の財政・金融政策が発動されたことにより、景気の基調に下げ止まり感が出て改善の兆しが見られるものの、雇用および設備の過剰感の解消にはいたっておりません。また、国内の個人消費の冷え込みの影響は大きく、国内の景気は先行き不透明で下振れのリスクもあります。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界におきましては、先行きの景況感が不透明の中、出荷予定数の減少見込みにより生産調整が行われ、設備投資・生産とも減少しております。

このような状況のもと、当社グループは、魅力ある新商品の開拓や営業活動をグローバルに展開し、ゲーム機、ノートパソコン用電池部材、薄型テレビ、フラットパネルディスプレイ製造装置、半導体製造装置、医療機器、RFID等の分野を中心として拡販活動に取り組みました。

(1) 売上高

当第2四半期連結累計期間の売上高は60億円（前年同四半期比15.8%減）となりました。また品目別売上高は下記のようになりました。なお当社グループは、単一事業であり事業の種類別セグメントを作成しておりませんので、商品の品目別の売上高を記載しております。

- ・電気材料につきましては、据え置き型ゲーム機及びその関連機器、携帯ゲーム機に使用される関連材料の販売が堅調に推移しましたが、汎用のテープ類の売上が減少しました。その結果、売上高は21億22百万円（前年同四半期比18.8%減）となりました。
- ・電気部品につきましては、ゲーム機関連部品、その他各種電気機器向けコネクタの販売が堅調に推移しました。その結果、売上高は24億46百万円（前年同四半期比1.5%増）となりました。
- ・電気モジュールにつきましては、半導体製造装置用長尺フレキシブル基板等の販売が落ち込みました。その結果、売上高は6億95百万円（前年同四半期比48.4%減）となりました。
- ・フラットパネルディスプレイ関連材料・部品につきましては、薄型テレビ用に使用される関連部品の販売が堅調に推移しました。その結果、売上高は4億25百万円（前年同四半期比6.4%増）となりました。
- ・無線周辺機器関連材料・部品につきましては、RFID部品の主力顧客の生産調整の影響を受け、受注が減少しました。その結果、売上高は92百万円（前年同四半期比24.5%減）となりました。
- ・その他、工場内で使用される静電気対策製品や安全衛生関連製品等を販売しました。受注については堅調に推移しました。その結果、売上高は2億17百万円（前年同四半期比4.5%減）となりました。

(2) 営業利益

人件費及びその他営業に係る費用の発生等により販売費及び一般管理費が6億37百万円（前年同四半期比12.3%減）となったため、営業利益は2億78百万円（前年同四半期比39.3%減）となりました。

(3) 経常利益

受取配当金等の計上により営業外収益が3百万円（前年同四半期比81.6%減）となり、為替差損等の計上により営業外費用が20百万円（前年同四半期比833.1%増）となったため、経常利益は2億61百万円（前年同四半期比45.1%減）となりました。

(4) 四半期純利益

投資有価証券売却益、保険解約返戻金等の計上により特別利益を1億33百万円計上しましたが、合併にともなう拠点統廃合等により特別損失を1億46百万円計上したため、四半期純利益は1億46百万円（前年同四半期比46.9%減）となりました。

(注) RFID: 微小な無線半導体集積回路により人やモノを識別・管理する技術。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.8%増加し、52億48百万円となりました。これは、未収入金が90百万円減少したものの、現金及び預金が1億53百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて32.9%減少し、4億62百万円となりました。これは、合併にともなう拠点統廃合等により有形固定資産が64百万円、無形固定資産が33百万円、投資その他の資産が1億28百万円それぞれ減少したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.2%減少し、57億11百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.6%増加し、30億60百万円となりました。これは、未払法人税等が1億28百万円減少したものの、買掛金が3億32百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて98.8%減少し、2百万円となりました。これは、役員退職慰労引当金が2億35百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて5.8%減少し、30億63百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.0%増加し、26億47百万円となりました。これは、為替換算調整勘定が28百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が37百万円増加したことなどによります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

本連結会計年度におけるエレクトロニクス業界におきましては、引き続き生産調整局面にある企業が多いものの、家電機器、通信機器、産業機器、輸送機器、医療機器、エネルギー及び環境関連機器等の各分野において、生産増加・成長が見込まれる企業が見受けられます。

特にユビキタス社会としての注目を集めているRFID技術は、一般生活において、カードや携帯電話に内蔵することでますます身近な存在となっており、また、企業においても在庫管理や各種物品管理等で利用頻度が高まっております。

また、二次電池市場においては、その他エレクトロニクス機器関連に比べ堅調に推移しており、携帯電話やノートPC等の携帯機器に加え、電動自転車や自動車産業等での利用が高まっており、今後一層の成長が見込まれます。

このような状況の中、高千穂電気株式会社と大西電気株式会社は、今後の競争優位性獲得と一層の企業価値向上を図るべく、本年10月1日に合併しエレマテック株式会社として新しくスタートしました。当社グループは引き続きエレクトロニクス関連の材料及び部品をグローバルに提供する電気材料商社として、顧客基盤を拡充し取扱商品とサービスを多様化することでお客様のニーズへの対応力を向上させ、合わせて効率的な経営を行うことで収益の拡大を図ってまいります。

当社グループの平成22年3月期の見通しにつきましては、エレマテック株式会社(旧高千穂電気株式会社)平成22年3月期第2四半期決算短信の連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

表示方法の変更

(四半期連結貸借対照表)

「四半期連結財務諸表規則による流動資産の区分表示の改正」(金融庁 平成20年8月7日 内閣府令第50号)に基づき、前第2四半期連結累計期間において、「商品」として掲記されたものは、当第2四半期連結累計期間より「商品及び製品」として表示しております。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	894,426	741,264
受取手形及び売掛金	2,820,848	2,837,233
商品及び製品	195,019	203,283
未収入金	1,255,984	1,346,085
その他	84,033	82,172
貸倒引当金	△1,486	△1,608
流動資産合計	5,248,827	5,208,432
固定資産		
有形固定資産	124,634	188,859
無形固定資産	4,419	37,899
投資その他の資産		
その他	337,065	465,285
貸倒引当金	△3,572	△3,003
投資その他の資産合計	333,492	462,282
固定資産合計	462,547	689,041
資産合計	5,711,374	5,897,473

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,224,299	1,892,022
1年内返済予定の長期借入金	5,000	32,960
未払金	654,384	691,426
未払法人税等	66,402	194,979
賞与引当金	55,856	69,372
役員賞与引当金	—	69,500
その他	54,631	62,078
流動負債合計	3,060,573	3,012,338
固定負債		
退職給付引当金	508	2,660
役員退職慰労引当金	—	235,303
その他	2,382	191
固定負債合計	2,890	238,155
負債合計	3,063,464	3,250,493
純資産の部		
株主資本		
資本金	434,807	434,807
資本剰余金	163,227	163,227
利益剰余金	2,038,887	2,047,775
自己株式	△135	△120
株主資本合計	2,636,787	2,645,689
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	63,025	25,145
為替換算調整勘定	△51,901	△23,854
評価・換算差額等合計	11,123	1,290
純資産合計	2,647,910	2,646,980
負債純資産合計	5,711,374	5,897,473

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第 2 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月 30 日)
売上高	7,123,746	6,000,464
売上原価	5,938,157	5,084,359
売上総利益	1,185,589	916,105
販売費及び一般管理費	726,796	637,624
営業利益	458,792	278,480
営業外収益		
受取利息	525	173
受取配当金	3,185	2,479
為替差益	14,968	—
その他	825	936
営業外収益合計	19,505	3,589
営業外費用		
支払利息	1,121	82
株式交付費	1,031	—
為替差損	—	20,318
その他	50	165
営業外費用合計	2,203	20,565
経常利益	476,094	261,504
特別利益		
投資有価証券売却益	—	56,458
保険解約返戻金	—	76,243
出資金売却益	—	852
特別利益合計	—	133,554
特別損失		
減損損失	—	107,925
合併関連費用	—	37,631
固定資産除却損	—	700
投資有価証券売却損	—	149
投資有価証券評価損	2,792	—
出資金評価損	3,622	—
特別損失合計	6,415	146,406
税金等調整前四半期純利益	469,679	248,652
法人税、住民税及び事業税	188,232	44,263
法人税等調整額	5,268	57,640
法人税等合計	193,500	101,904
四半期純利益	276,178	146,747

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。

6. その他の情報

特に記載すべき事項はありません。